

消 防 年 報

令和5年（2023年）



萩市消防本部

令和6年5月刊行

は し が き

この年報は、萩市消防本部の消防業務に関する諸般の実績及び萩市、阿武町の消防現勢を収録し、今後の消防行政に資するとともに、消防事情を広く紹介するために編集したものです。

消防関係者はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき消防行政についてご理解いただければ幸いです。

なお、この年報は火災・救急・救助については令和5年中、その他は当該表にそれぞれ記載する年月日等で表しております。

令和6年5月

萩市消防本部

1 地 勢

<地勢>

萩市は、山口県の北部に位置し、総面積は 698.31 k m²で、県土の 11.4%を占めます。北部は日本海に面し、東部は益田市及び津和野町（島根県）、南東部は山口市、西部は長門市及び美祢市に接しています。

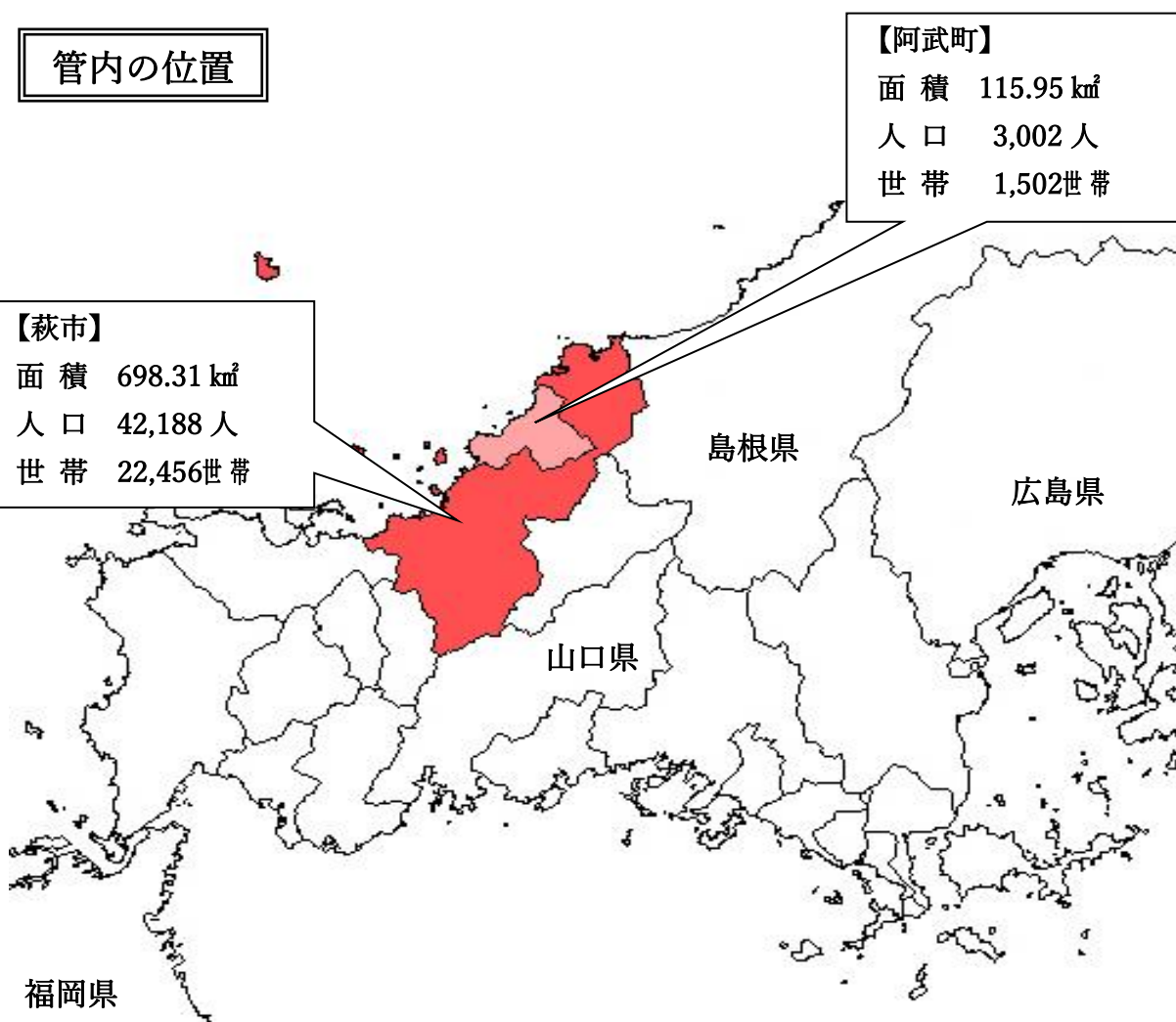
地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高 700mを超える山々が連なっています。低地は少なく、二級河川阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られる丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖あいには、大島、相島、櫃島、羽島、肥島、尾島の六つの平らな火山島が浮かび、約 45 km先には見島があります。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島で、市全体の海岸線延長は約 151km です。

気候は、沿岸部においては対馬海流の影響を受けて比較的温暖であり、中山間部においては盆地特有の気候で、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。

なお、当市は阿武郡阿武町から常備消防に関する事務を受託しており、当消防本部の管轄区域は、両市町を合わせ人口 45,190 人、世帯数 23,958 世帯、面積 814.26 km²となっています。

管内の位置



令和 6 年 4 月 1 日現在

2 萩消防のあゆみ

<沿革>

年 月 日	記 事
万治4年(寛文元年) (1661年)	「火消条々」を含む『万治制法』制定
享保9年(1724年)	町ごとに仮小屋の辻番所を設け、端坊の時鐘の上に望火楼を設けて火消組を常勤させる。
寛保元年(1741年)	橋本川・松本川の洪水に際して、萩城下町人の出動についての規定を布達する。
天保12年(1841年)	71箇所あった辻番所を22箇所に削減し、回番所と改称する。 松原口・松本橋本番所口番所・中渡・鶴江台に鐘楼を設ける。
明治27年10月27日 (1894年)	勅令「消防組規則」・県令「消防組施行細則」が制定され、町会において「巴城消防組設置諮問案」が可決される。
明治43年 8月29日 (1910年)	町会において、巴城消防組を「萩町消防組」と改称することを可決する。
明治44年 3月20日	萩町消防組を第一部(新堀川以南)と第二部(新堀川以北)に分ける。 山田村消防組が知事より許可され、公設消防組となる。
大正 8年 2月27日 (1919)	消防手 58 名を 96 名に増員し、制服を洋服式から法被式に改め、消防器具を増強
大正10年 6月 2日	萩町水防準備細則が制定
大正11年12月11日	萩消防後援会(会長:菊屋剛十郎)が蒸気唧筒2台を寄付
大正12年12月23日	萩町消防組を第一部・第二部・第三部(大字山田村)に分ける。
大正13年 2月29日	萩町消防組に小畑浦私設消防組を合同編入し、第四部を設置
大正15年 8月30日	出動合図がモーターサイレンとなる。
昭和 4年10月24日	萩町水防組規定が制定
昭和 7年 8月27日	萩公設消防組がレオ市原式自動車ポンプ1台を萩市へ寄付
昭和11年 3月 7日	萩市消防組を本部・第一部・第二部・第三部・第四部(大字椿東村)に分ける。
昭和14年 4月 1日	警防団令が公布され、萩市警防団が設置されて消防組・水防組及び防護団は解散
昭和22年10月 1日	萩市消防団設置条例が制定され、萩市警防団を改組し、新たに萩市消防団が組織され、団本部と9個分団・団員500名となる。
昭和24年 7月 1日	萩市消防本部設置条例が制定され市役所内に萩市消防本部を設置 同年、萩市危険物取締条例及び萩市火災予防条例が制定される。
昭和27年 6月 1日	消防団を11個分団とし、団員280名となる。
昭和29年 3月30日	萩市大字江向431番地に消防庁舎が新築される。
昭和30年 3月 1日	市町村合併(三見村・大井村・六島村・見島村)により消防団を16個分団とし、団員655名となる。

昭和 32 年 7 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、2 係（消防係・予防査察係）とし、消防職員 4 名となる。
昭和 33 年 4 月 1 日	消防団を 19 個分団とし、団員 534 名となる。
昭和 36 年 2 月 15 日	日本消防協会長から萩市消防団に表彰旗を授与される。
昭和 40 年 2 月 10 日	常備消防開設に伴い消防庁舎を増築し、萩市消防本部の機構改革により、2 課 4 係（庶務課：庶務係）（予防課：予防係・消防係・調査係）とし、職員 13 名となる。
昭和 40 年 4 月 1 日	萩市消防署開設。水槽付ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ自動車 1 台、小型動力ポンプ 1 台が設置され、職員 30 名となる。
昭和 41 年 3 月 7 日	昭和 40 年 7 月の集中豪雨による活動に対し、山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に表彰状が授与される。
昭和 41 年 4 月 1 日	消防団員の定員を 444 名に改める。
昭和 43 年 5 月 1 日	救急業務が開始され、救急車 1 台を配備し、職員 3 名が増員
昭和 51 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
昭和 51 年 3 月 20 日	山口県生命建物共済農業協同組合連合会長、萩市・見島・三見・大井各農業共同組合長が救急車 1 台を寄贈
昭和 51 年 4 月 1 日	1 町 4 村（阿武町・旭村・川上村・福栄村・むつみ村）から救急委託を受け、広域救急業務を開始。職員 6 名を増員し、総員 39 名となる。
昭和 52 年 2 月 18 日	社団法人日本自動車工業会が救急車 1 台を寄贈
昭和 52 年 3 月 4 日	消防庁長官から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
昭和 52 年 9 月 5 日	東京海上火災保険株式会社が広報車 1 台を寄贈
昭和 56 年 2 月 11 日	日本消防協会長から萩市消防団に最高栄誉賞まといが授与される。
昭和 56 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に表彰旗が授与される。
昭和 57 年 9 月 21 日	日本消防協会が指令広報車 1 台を寄贈
昭和 57 年 12 月 15 日	消防署に車庫を新築する。（鉄骨スレート葺き 57.35 m ² ）
昭和 58 年 2 月 15 日	中高層建築物の災害対策として、はしご付消防自動車(35m 級)を配置し、職員 4 名が増員
昭和 58 年 3 月 3 日	消防庁長官から萩市消防本部・萩市消防団に表彰旗が授与される。
昭和 59 年 10 月 23 日	社団法人日本損害保険協会が救助工作車 1 台を寄贈
昭和 60 年 10 月 1 日	消防テレホンサービス（25 - 7474）を開設
昭和 61 年 11 月 13 日	財団法人萩交通安全事業普及協会が広報車 1 台を寄贈
昭和 62 年 3 月 4 日	社団法人日本損害保険協会が救急車 1 台を寄贈
昭和 62 年 6 月 22 日	財団法人日本防火協会が防火広報車 1 台を寄贈
平成 2 年 1 月 11 日	山口県生命建物共済農業協同組合連合会長他農業共同組合長が救急車 1 台を寄贈
平成 4 年 10 月 1 日	衛星通信ネットワークが開設
平成 5 年 2 月 15 日	水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 5 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
平成 6 年 10 月 25 日	指令広報車を更新
平成 6 年 11 月 1 日	C A T V を利用しての緊急情報システムを導入

平成 7 年 11 月 15 日	救急救命士国家試験に合格（1 人目）
平成 8 年 7 月 26 日	萩市総合防災訓練を実施
平成 9 年 3 月 10 日	高規格救急自動車及び救急資器材を購入
平成 9 年 4 月 1 日	高度救急業務を開始
平成 11 年 5 月 1 日	萩市防災メールによる火災情報配信を開始
平成 11 年 11 月 15 日	消防庁舎が新築され、竣工式を行う。
平成 12 年 4 月 1 日	1 市 3 町 4 村の常備消防化のため、萩地区広域市町村圏組合消防本部が発足し、消防職員定数が 77 名となり。3 課 1 室 5 係（総務課：庶務係・会計係）（予防課：予防 1 係・予防 2 係）（警防課：通信指令室・警防係）体制となる。新規に消防職員を 12 名採用し、現有人員 59 名となる。
平成 13 年 3 月 9 日	弥富出張所配備の高規格救急自動車及び救急資器材を購入
平成 13 年 3 月 19 日	弥富出張所用の指令広報車を購入
平成 13 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署弥富出張所を開設、高規格救急車 1 台を配備して須佐町・田万川町の救急業務を開始する。新規に消防職員 12 名を採用し、現有人員 68 名となる。 萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、3 小隊とする。
平成 13 年 8 月 30 日	山口県総合防災訓練 in 萩を河添河川公園で実施
平成 14 年 3 月 14 日	山之内製薬株式会社が高規格救急車 1 台を寄贈。救急資器材を購入。
平成 14 年 3 月 20 日	紫福分遣所用の指令広報車を購入
平成 14 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署紫福分遣所を開設し、高規格救急車を 1 台配備する。それに伴い、救急出動範囲を一部変更する。新規に消防職員 9 名を採用し、現有人員が条例定数の 77 名となる。 萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、4 小隊とする。
平成 14 年 6 月 24 日	指令広報車及び防火広報車を更新
平成 14 年 7 月 24 日	積載車を更新
平成 14 年 11 月 28 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 14 年 12 月 27 日	弥富出張所にポンプ車及び警防資器材を購入
平成 15 年 3 月 28 日	弥富出張所一部増築（ホース乾燥台等）
平成 15 年 4 月 1 日	萩消防署弥富出張所に消防ポンプ自動車 1 台を配備し、管内北部地区の消防業務を開始。これに伴い、火災出動範囲を一部変更する。
平成 15 年 8 月 22 日	運搬車としてトラックを購入
平成 15 年 12 月 22 日	消防ポンプ自動車（CD－I 型）を更新
平成 16 年 3 月 10 日	化学消防ポンプ自動車（I 型）を購入
平成 16 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、2 中隊各 3 小隊とする。
平成 16 年 11 月 25 日	救助工作車（II 型）を更新
平成 17 年 3 月 5 日	萩地区広域市町村圏組合解散
平成 17 年 3 月 6 日	市町村合併により新「萩市」が誕生、新市移行に伴い名称を萩市消防本部及び萩市消防署に変更する。

平成 17 年 7 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、3 課 1 室 6 係（総務課：総務管理係・消防団係）（警防課：警防係・救急係・通信指令室）（予防課：予防 1 係・予防 2 係）と体制とする。消防職員条例定数 92 名とし、現有人員が 81 名となる。 消防団も 7 市町村で合併。新「萩市消防団」が誕生する。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 55 分団とし、消防団員条例定数を 1,401 名とする。現有人員が 1,280 名となる。 不特定多数の人が出入りするホテル・店舗等で救急事案が発生した場合、救急隊が到着するまでに適切な処置を取れる事業所を養成する「救急ステーション認定制度」を開始
平成 17 年 10 月 19 日	携帯電話からの 119 番通報が、分散受信方式（代表消防本部から管轄消防本部へ転送）から直接受信方式に移行する。
平成 17 年 12 月 14 日	日本テレコム・KDDI・NTT 西日本 3 社による IP 電話が通信指令室に設置（IP 電話～インターネットを活用した電話サービス）
平成 18 年 4 月 1 日	新規消防職員 10 名を採用し、現有人員 88 名となる。
平成 18 年 5 月 31 日	気管挿管の認定を受ける。（1 人目）
平成 18 年 7 月 1 日	紫福分遣所に積載車を配備する。火災出動範囲を一部変更する。
平成 18 年 10 月 5 日	薬剤投与の認定を受ける。（1 人目）
平成 19 年 3 月	国民保護計画策定
平成 19 年 4 月 1 日	萩市消防署佐々並分遣所を開設し、高規格救急車・指令車を各 1 台配備、救急出動範囲を一部変更する。萩市消防署の機構改革により 5 小隊とする。佐々並分遣所で、萩市佐々並支所の夜間・休日業務の受託事務を開始する。
平成 19 年 4 月 1 日	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の施行に関する事務を山口県から権限移譲を受け事務を開始する。
平成 19 年 4 月 1 日	予防技術資格者認定（6 名）
平成 20 年 2 月	萩市離島の消防力整備計画策定
平成 20 年 4 月 15 日	萩市、益田市、津和野町及び益田地区広域市町村圏組合広域消防相互応援協定を締結
平成 21 年 3 月	萩市消防本部における新型インフルエンザ 対策のための業務継続計画策定 萩市消防団協力事業所表示制度制定
平成 21 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有人員 86 名となる。
平成 21 年 11 月 16 日	萩市消防署に、35m 級はしご付消防自動車を更新する。
平成 22 年 4 月 1 日	萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 53 分団とする。
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生により、萩市消防本部から 5 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に派遣（3 月 14 日～3 月 22 日：宮城県石巻市）
平成 23 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 87 名となる。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 54 分団とする。 火薬類取締法及び武器等製造法に係る事務の一部を山口県から権限移譲を受け事務を開始する。

平成 24 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 90 名となる。 ガス事業法並びに石油液化ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に係る事務の一部を、地域主権推進一括法（第 2 次）により権限移譲を受け事務を開始する。
平成 24 年 12 月 1 日	萩市総合防災訓練を萩潟港多目的広場で実施
平成 25 年 2 月 14 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 25 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 92 名となる。 消防救急デジタル無線運用開始
平成 25 年 7 月 28 日	萩市東部集中豪雨災害が発生、須佐で観測史上最大の 1 時間の降水量が 138.5mm、また午前 9 時 20 分からの 3 時間雨量が 301.5mm を観測し、気象庁から「これまでに経験したことのないような大雨」と発表されるなど記録的な豪雨となり、須佐、田万川、むつみ地域で未曾有の災害となった。
平成 25 年 11 月 25 日	平成 25 年 7 月の萩市東部豪雨災害における功績により、萩市消防団が国土交通大臣表彰を受ける。
平成 26 年 2 月 24 日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新
平成 26 年 3 月 7 日	平成 25 年 7 月 26 日大雨災害における功績により、萩市消防団が山口県知事表彰を受ける。
平成 26 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有人員 90 名となる。
平成 26 年 8 月 28 日	広島市豪雨災害発生により、萩市消防本部から 3 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に派遣（8 月 28 日～8 月 29 日：広島県広島市）
平成 26 年 9 月 1 日	平成 25 年 7 月の萩市東部豪雨災害における功績により、萩市消防団が内閣総理大臣表彰を受ける。
平成 26 年 11 月 11 日	平成 26 年 8 月 20 日の広島市豪雨災害における功績により、萩市消防本部が広島市長から感謝状を受ける。
平成 27 年 2 月 6 日	平成 26 年 8 月 20 日の広島豪雨土砂災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 27 年 3 月 5 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 27 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 91 名となる。
平成 27 年 11 月 6 日	通信指令施設（離島型）を更新、発信地表示・A V M・動画伝送機能追加
平成 28 年 3 月 9 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
平成 28 年 3 月 28 日	指令広報車 1 台更新
平成 28 年 4 年 1 日	現有人員 90 名となる。
平成 28 年 4 月 16 日	熊本県地震発生により、萩市消防本部から 22 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に派遣（4 月 16 日～4 月 21 日：熊本県阿蘇市）
平成 29 年 2 月 8 日	平成 28 年熊本地震における功績により消防庁長官表彰を受ける。
平成 29 年 2 月 20 日	指令広報車 1 台更新
平成 29 年 4 月 1 日	新規消防職員 3 名を採用し、現有人員 90 名となる。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 57 分団とする。

平成 29 年 7 月 6 日	九州北部豪雨災害発生により、萩市消防本部から 45 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 20 日：福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村)
平成 29 年 10 月 1 日	萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 58 分団とする。
平成 29 年 12 月 26 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
平成 30 年 2 月 8 日	平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 30 年 2 月 23 日	指令広報車 1 台更新
平成 30 年 4 月 1 日	新規採用職員 2 名を採用し、現有人員 89 名となる。 消防団員条例定数を 1,244 名とする。
平成 30 年 7 月 6 日	平成 30 年 7 月豪雨災害発生により、萩市消防本部から 26 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 17 日：広島市及び安芸郡海田)
平成 30 年 12 月 11 日	公益財団法人日本消防協会が指揮指令車 1 台を寄贈（指揮指令車を更新）
平成 31 年 2 月 5 日	平成 30 年 7 月豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 31 年 2 月 26 日	指令広報車 1 台更新
平成 31 年 4 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、萩市消防本部警防課通信指令室に指令第 1 係と指令第 2 係を配置し、萩市消防署を 6 小隊とする。 新規採用職員 2 名を採用し、現有人員 91 名となる。
令和 元年 12 月 26 日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車 1 台を寄贈 (高規格救急自動車及び救急資器材を更新)
令和 2 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有職員 92 名となる。
令和 2 年 7 月 6 日	令和 2 年 7 月豪雨災害発生により、萩市消防本部から 56 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 11 日：熊本県八代市及び球磨郡球磨村)
令和 3 年 2 月 9 日	令和 2 年 7 月豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
令和 3 年 3 月 10 日	消防ポンプ自動車 1 台更新
令和 3 年 3 月 11 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
令和 3 年 3 月 18 日	指令広報車 1 台、積載車 1 台更新
令和 3 年 3 月	萩市国土強靱化地域計画策定
令和 3 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有職員 91 名となる。
令和 4 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車 (CD-1 型) 1 台更新
令和 4 年 3 月 11 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
令和 4 年 4 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、萩市消防署を 8 小隊とし、本署及び各署所に 1 小隊及び 2 小隊を配置する。 新規消防職員 4 名を採用し、現有職員 93 名となる。
令和 5 年 3 月 23 日	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新

令和 5 年 3 月 24 日	化学消防ポンプ車（Ⅰ型）1 台更新
令和 5 年 4 月 1 日	新規採用消防職員 2 名を採用、現有職員 9 4 名となる。 消防職員条例定数を 1 0 3 名とする。
令和 6 年 3 月 26 日	資機材搬送車 1 台更新
令和 6 年 4 月 1 日	新規採用消防職員 3 名を採用、現有職員 9 5 名となる。

<歴代消防長>

●萩市消防本部（旧萩市）

	氏名	就任期間	備考
	助役等兼務		
	柴田 敏夫	昭和 3 2 年～	専任の消防長を配置
	桐山慶二郎	昭和 3 6 年～	
	槌田 富祐	昭和 4 0 年～	
	池田 修亮	昭和 4 5 年～	
	山本 正治	昭和 4 7 年 1 1 月 1 日～昭和 5 2 年 1 1 月 3 1 日	
	山根 文二	昭和 5 2 年 1 1 月 1 日～昭和 5 5 年 3 月 3 1 日	
	村岡 明	昭和 5 5 年 4 月 1 日～平成 元 年 3 月 3 1 日	
	田坂 利人	平成 元 年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 3 1 日	
	新山 幹夫	平成 4 年 4 月 1 日～平成 5 年 3 月 3 1 日	
	松浦 芳晴	平成 5 年 4 月 1 日～平成 6 年 3 月 3 1 日	
	森脇 智一	平成 6 年 4 月 1 日～平成 7 年 3 月 3 1 日	
	坪井 淑郎	平成 7 年 4 月 1 日～平成 1 0 年 3 月 3 1 日	
	長岡 洋児	平成 1 0 年 4 月 1 日～平成 1 2 年 3 月 3 1 日	

●萩地区広域市町村圏組合消防本部

	氏名	就任期間	備考
初代	長岡 洋児	平成 1 2 年 4 月 1 日～平成 1 3 年 3 月 3 1 日	前・萩市消防長
2 代	山下 富雄	平成 1 3 年 4 月 1 日～平成 1 4 年 3 月 3 1 日	前・消防次長兼警防課長兼消防署長
3 代	波多野一郎	平成 1 4 年 4 月 1 日～平成 1 6 年 3 月 3 1 日	前・萩市議会事務局長
4 代	山根 道生	平成 1 6 年 4 月 1 日～平成 1 7 年 3 月 6 日	前・萩市総務部長

●萩市消防本部（合併後）

	氏名	就任期間	備考
初代	山根 道生	平成 1 7 年 3 月 7 日～平成 1 7 年 5 月 9 日	前・萩広域組合消防長
2 代	大崎 弘美	平成 1 7 年 5 月 1 0 日～平成 1 9 年 3 月 3 1 日	前・商工観光部長
3 代	中屋 健司	平成 1 9 年 4 月 1 日～平成 2 1 年 3 月 3 1 日	前・消防署長
4 代	米原 祥三	平成 2 1 年 4 月 1 日～平成 2 2 年 3 月 3 1 日	前・議会事務局長
5 代	杉山 龍二	平成 2 2 年 4 月 1 日～平成 2 3 年 3 月 3 1 日	前・市民部次長
6 代	松浦 俊生	平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 5 年 3 月 3 1 日	前・消防署長

	氏名	就任期間	備考
7代	松原 純二	平成25年4月1日～平成26年3月31日	前・消防本部理事
8代	中原 滝雄	平成26年4月1日～平成28年3月31日	前・市民部長
9代	寺川 清美	平成28年4月1日～平成30年3月31日	前・消防署長
10代	野原 和正	平成30年4月1日～令和3年3月31日	前・警防課長
11代	鶴屋 弘	令和3年4月1日～令和4年3月31日	前・消防次長
12代	阿武 均	令和4年4月1日～令和5年3月31日	前・消防次長
13代	磯部 誠	令和5年4月1日～	前・消防次長

<歴代消防団長>

●萩市消防団（旧萩市）

	氏名	就任期間	備考
初代	吉賀 要作	昭和22年～昭和29年	
2代	岡崎 寿義	昭和29年～昭和32年	
3代	田中 虎熊	昭和32年～昭和61年	
4代	伊藤 正二	昭和61年～平成4年6月30日	
5代	金子 利蔵	平成4年7月1日～平成13年11月30日	
6代	中村 誠	平成13年12月1日～平成17年3月6日	

●萩市消防団（合併後）

	氏名	就任期間	備考
初代	中村 誠	平成17年3月7日～平成17年7月31日	
2代	林 安繁	平成17年8月1日～平成23年11月30日	
3代	山根 勝美	平成23年12月1日～平成31年3月31日	
4代	原田 明	平成31年4月1日～	

3 総 務 関 係

<消防本部・消防署の現況>



萩市消防本部・萩市消防署

TEL 0838-25-2772

FAX 0838-26-3945

所在地 萩市大字江向428番地2

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 1390.81 m²

延床面積 2031.06 m²

敷地面積 3754.87 m²

建築年月日 平成11年9月30日



萩市消防署訓練塔

所在地 萩市大字江向428番地2

建物構造 鉄筋コンクリート造6階建

建築面積 48.00 m²

延床面積 288.00 m²

建築年月日 平成11年9月30日



萩市消防署弥富出張所

TEL 08387-8-5119

FAX 08387-8-5120

所在地 萩市大字弥富上1505番地1

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 365.18 m²

延床面積 359.76 m²

敷地面積 2966.00 m²

建築年月日 平成13年3月15日

(平成15年一部増築)



萩市消防署紫福分遣所

TEL 0838-53-5119

FAX 0838-53-5120

所在地 萩市大字紫福3434番地1

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 272.16 m²

延床面積 255.75 m²

敷地面積 2148.19 m²

建築年月日 平成14年3月8日



萩市消防署佐々並分遣所

TEL 0838-56-0119

FAX 0838-56-0128

所在地 萩市大字佐々並2662番地6

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 369.62 m²

延床面積 365.98 m²

敷地面積 1778.14 m²

建築年月日 平成19年3月16日

<萩市一般会計当初予算と消防費当初予算>

(単位：千円)

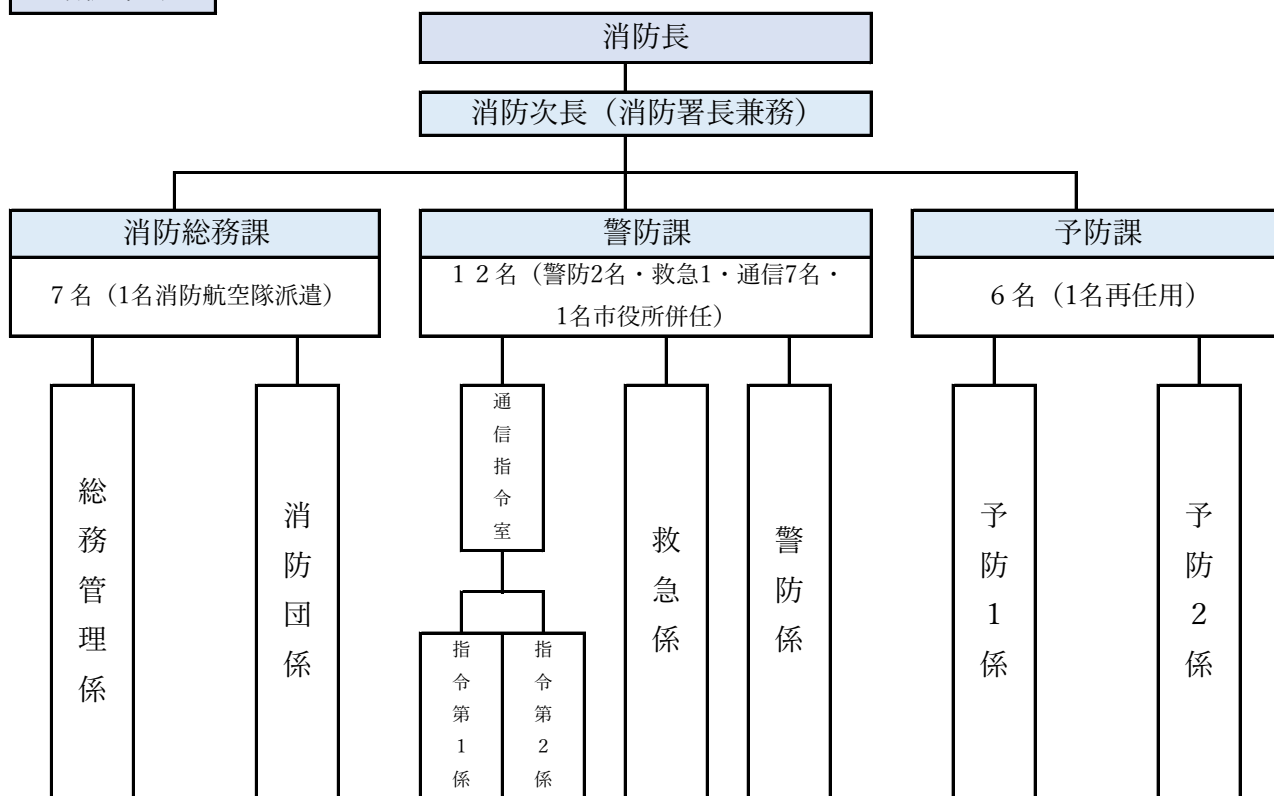
区分 年度	一般会計予算	消防費	内 訳			構成比 (%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	
令和5年度	29,900,000	1,945,361	1,184,189	171,714	213,315	6.5
令和4年度	29,880,000	1,472,490	774,440	176,433	318,258	4.9
令和3年度	29,880,000	1,558,580	763,067	180,097	264,536	5.2
令和2年度	29,380,000	1,500,517	767,680	191,027	261,498	5.1
令和元年度	29,270,000	1,319,645	764,985	192,049	169,618	4.5

注) 消防費は、水防費・災害対策費を含んだもの。

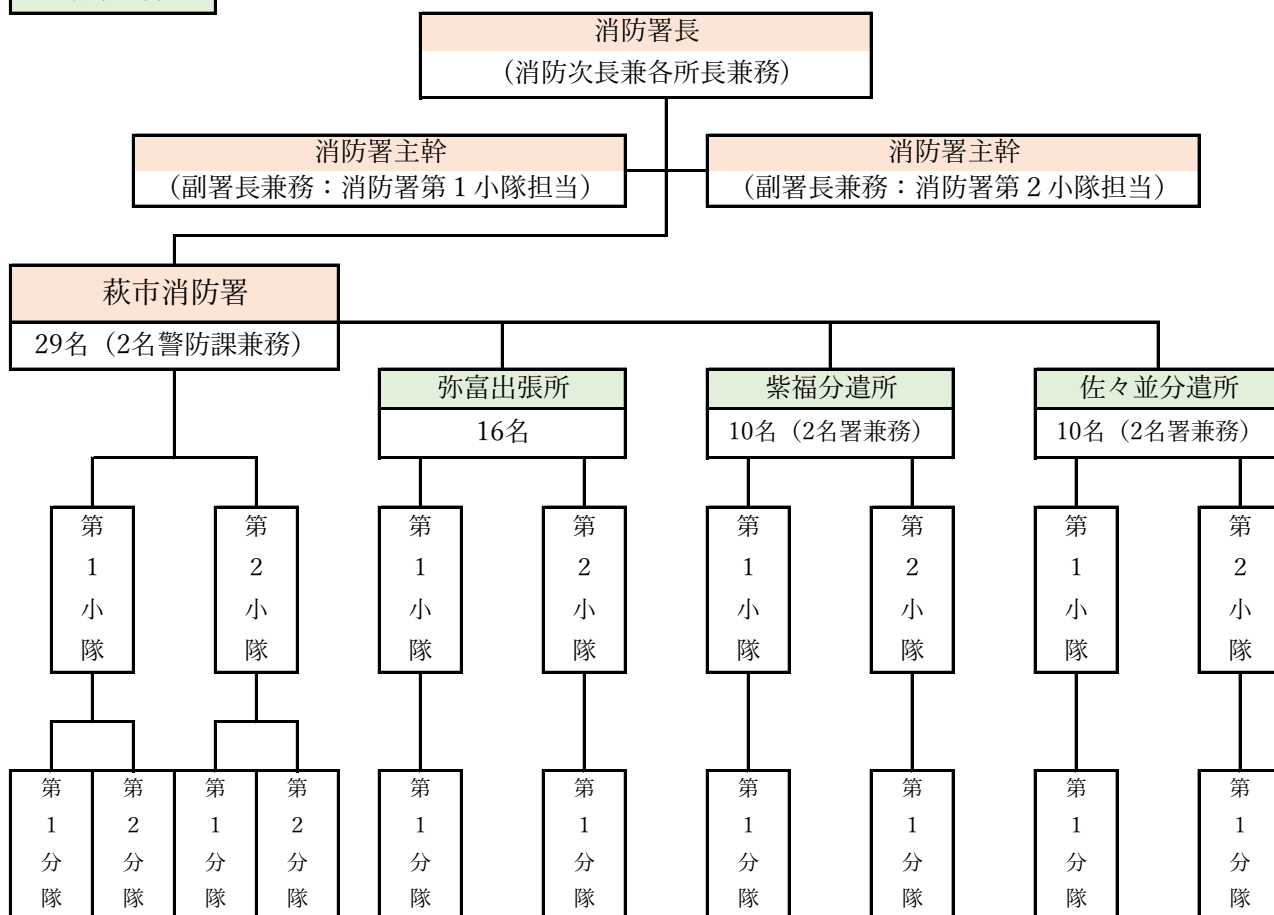
<消防本部組織図>

令和6年4月1日現在

消防本部



消防署



〈消防職員の現況〉

令和6年4月1日現在

年齢	合計	うち女性職員	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
18歳	0							
19歳	2							2
20歳	1							1
21歳	3	1						3
22歳	1							1
23歳	2							2
24歳	2							2
25歳	2							2
26歳	1							1
27歳	3							3
28歳	2							2
29歳	1					1		
30歳	2					1		1
31歳	1					1		
32歳	2					2		
33歳	2					2		
34歳	4					4		
35歳	1					1		
36歳	3					3		
37歳	3	1				3		
38歳	0							
39歳	2				1	1		
40歳	1				1			
41歳	3				3			
42歳	6				6			
43歳	3				3			
44歳	3				3			
45歳	4				3	1		
46歳	4			1	3			
47歳	5			3	2			
48歳	4			4				
49歳	6			5	1			
50歳	2			2				
51歳	3			2	1			
52歳	0							
53歳	2			2				
54歳	1			1				
55歳	0							
56歳	2			2				
57歳	0							
58歳	1			1				
59歳	4		1	1	1		1	
60歳	0							
61歳	1							1
うち再任用	1							1
合計	95	2	1	24	28	20	1	21

【条例定数：103名】

平均年齢：40.1

4 警 防 関 係

<現有消防車両等>

●萩市消防本部・萩市消防署

令和6年4月1日現在

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 指 令 1	指 揮 指 令 車	三 菱	平成 30 年 12 月 7 日	
萩 指 令 2	指 令 広 報 車	スズキ	平成 29 年 2 月 16 日	
萩 指 令 3	指 令 広 報 車	マツダ	平成 28 年 3 月 10 日	
萩 指 令 4	指 令 広 報 車	日 産	令和 3 年 3 月 8 日	
萩 指 令 5	指 令 広 報 車	マツダ	平成 30 年 2 月 21 日	
萩 広 報 1	人 員 輸 送 車 広 報 車	トヨタ	平成 31 年 2 月 26 日	緊援隊登録
萩 資 機 材 1	資 機 材 運 搬 車	日野	令和 6 年 3 月 7 日	
萩 タ ン ク 1	水 槽 付 ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	平成 26 年 2 月 17 日	A - 2 級
萩 ポ ン プ 1	ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 3 年 2 月 25 日	A - 2 級 緊援隊登録
萩 梯 子 1	3 5 m 級 は し ご 車	車 体：日野 艀 装：モリタ	平成 21 年 11 月 10 日	
萩 化 学 1	化 学 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 5 年 3 月 17 日	A - 2 級 緊援隊登録
萩 救 助 1	救 助 工 作 車	車 体：日野 艀 装：テイセン	平成 16 年 11 月 22 日	
萩 積 1	積 載 車	いすゞ	令和 5 年 3 月 9 日	
萩 救 急 1	高 規 格 救 急 車	トヨタ	令和元年 12 月 16 日	
萩 救 急 2	高 規 格 救 急 車	日 産	平成 27 年 2 月 26 日	
萩 救 急 3	高 規 格 救 急 車	トヨタ	平成 29 年 12 月 14 日	
救 命 ボ ー ト	救 難 ・ 監 視 船	船 体：アキレス 船外機：ヤマハ	平成 30 年 3 月 20 日	

●萩市消防署弥富出張所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 ポ ン プ 2	ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 3 年 12 月 23 日	A - 2 級
萩 積 2	積 載 車	日 産	令和 3 年 3 月 5 日	
萩 救 急 4	高 規 格 救 急 車	トヨタ	令和 4 年 3 月 3 日	緊援隊登録

●萩市消防署紫福分遣所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 救 急 5	高 規 格 救 急 車	トヨタ	平成 28 年 3 月 1 日	

●萩市消防署佐々並分遣所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 救 急 6	高 規 格 救 急 車	日 産	令和 3 年 2 月 25 日	緊援隊登録

<消防水利>

令和 6 年 4 月 1 日現在

水利 地域		消火栓		防火水槽（基）								受水槽
		公設	私設	20～40 m ³		40～60 m ³		60～100 m ³		100 m ³ 以上		
				公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	
萩市	萩	799	58	3		99	17	5	1	2		15
	川上		4	6		29	2	1				1
	田万川	89		9		43	1		1			1
	むつみ	128		1		40						
	須佐	58				42						
	旭	30		4		34		1				
	福栄	57			1	59						1
阿武町		123		1		51						
合 計		1,284	62	24	1	397	20	7	2	2	0	18

5 火 災 関 係

<火災概要>

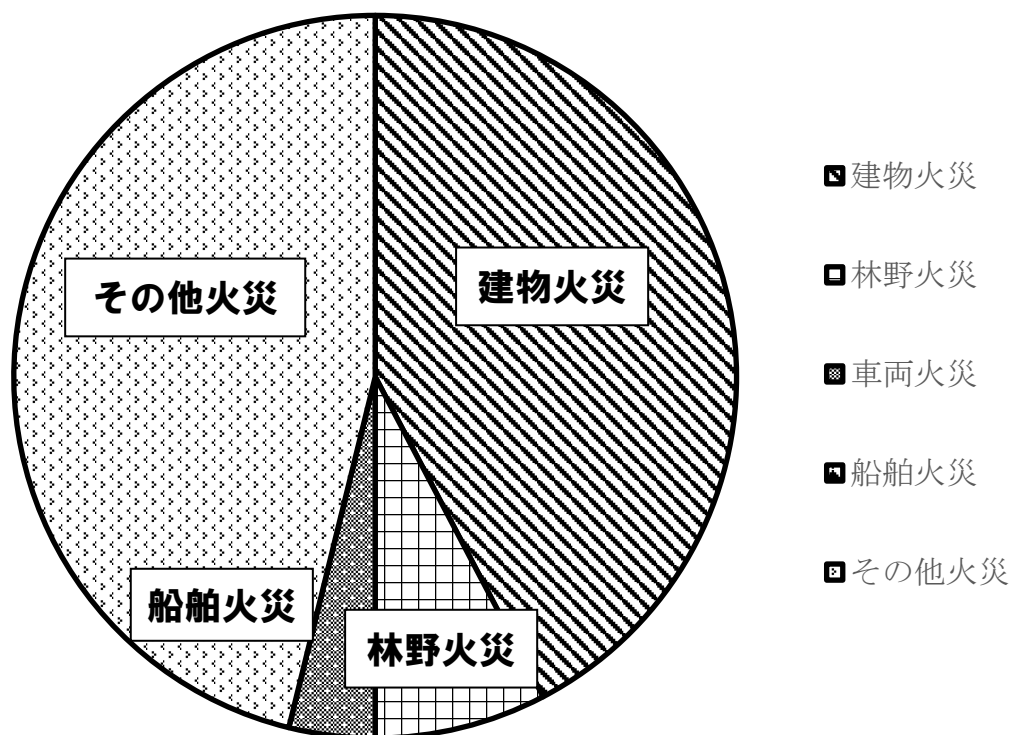
令和5年中の出火件数は26件（前年28件）で、月平均では2.17件の割合で火災が発生、火災種別ごとの件数は、建物火災が11件（前年11件）、林野火災が2件（前年4件）、車両火災が1件（前年0件）、船舶火災が0件（前年2件）、その他火災が12件（前年11件）となっている。損害額は57,312千円で、前年の53,278千円に比べると4,034千円の増となっている。主な出火原因は、火入れ（たき火）が9件、電気機器が3件、ガスこんろ軌道敷のブレーキ火花が2件ずつとなっている。過去5年の統計で見ると、出火原因は、火入れによるものが特に多い。

<令和5年の火災発生状況>

●火災発生件数と損害額

区分	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他火災	合 計
火災発生件数	11	2	1	0	12	26

区分	建物損害	林野損害	車両損害	船舶損害	その他損害	合計
損害額 (千円)	52,355	0	4,780	0	177	57,312



●火災発生件数（月別）

（単位：件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	種別 合計
建物	1	1	1	2		2		1		1		2	11
林野			1							1			2
車両											1		1
船舶													
その他	1		4		2			1	2	1	1		12
月別 合計	2	1	6	2	2	2		2	2	3	2	2	26

●地域別火災発生件数

（単位：件）

	萩地域	川上地域	田万川地域	むつみ地域	須佐地域	旭地域	福栄地域	阿武町	種別 合計
建物	9			1				1	11
林野			1			1			2
車両								1	1
船舶									
その他	6	2			1		2	1	12
地域別 合 計	15	2	1	1	1	1	2	3	26

●建物焼損棟数（月別）

（単位：棟）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全焼	2	1		3		1		2					9
半焼													0
部分焼			1	1		2		1		1		1	7
ぼや												1	1
合計	2	1	1	4	0	3	0	3	0	1	0	2	17

●焼損面積（月別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
床面積 (㎡)	165.580	67.890	10.200	148.860		118.410		634.420				2.320	1148
表面積 (㎡)				17.500		16.620		7.280		3.990			45
林野 (a)			5.630							1.750			7

●り災世帯・り災人員（月別）

（単位：世帯、人）

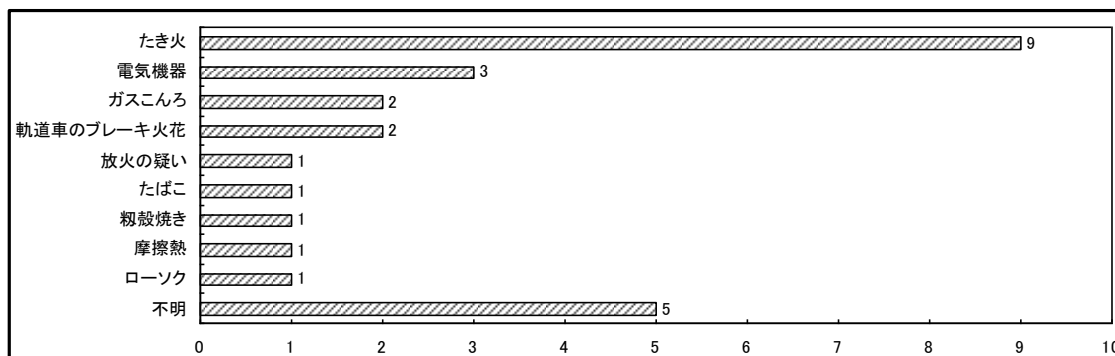
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
世帯	1	1		1		3							6
人員	2	1		1		7							11

●損害額（月別）

（単位：千円）

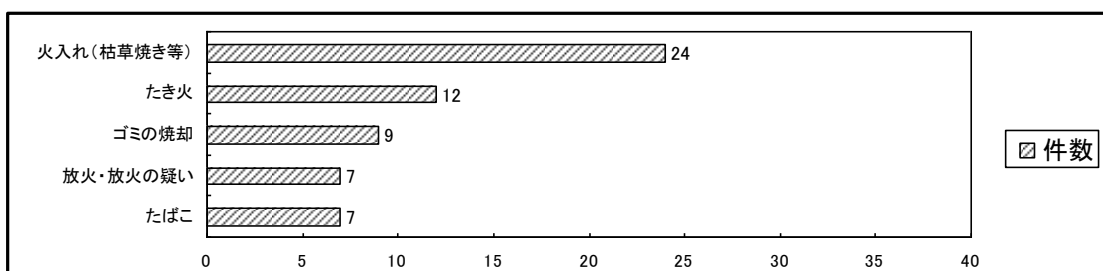
	建物			林野	車両	船舶	その他	月別 合計
	建物損害	内容物	小計					
1月	8,108	309	8,417				45	8,462
2月	975	65	1,040					1,040
3月	232	2	234				63	297
4月	2,494	9,756	12,250		4,682		39	16,971
5月								
6月	7,176	343	7,519					7,519
7月								
8月	18,252	3,943	22,195					22,195
9月							30	30
10月	463	172	635					635
11月					98			98
12月	57	8	65					65
合計	37,757	14,598	52,355	0	4,780	0	177	57,312

●火災原因別出火件数



●過去5年の主な出火原因別出火件数

(令和元年～令和5年)



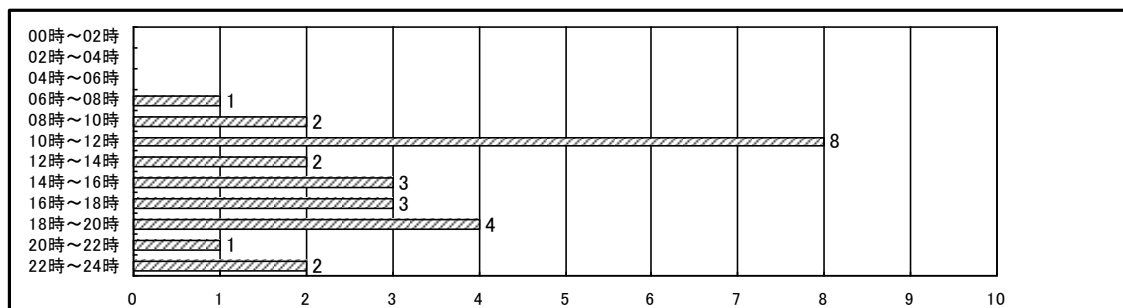
●過去5年の火災状況

(令和元年～令和5年)

火災件数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比増減
	30	26	34	28	26	▼2
建物火災	10	15	16	11	11	0
林野火災	3	1	7	4	2	▼2
車両火災	1	3	0	0	0	0
船舶火災	0	0	0	2	1	▼1
その他火災	16	7	11	11	12	1
損害額 (千円)	49,481	74,641	115,269	53,278	57,312	4,034
建築焼損床面積 (㎡)	723	1,756	1,293	1,155	1,148	▼7
建築焼損表面積 (㎡)	9	71	143	47	45	▼2
林野焼損面積 (a)	18	5	19	8	7	▼1
焼損棟数	16	27	27	25	17	▼8
罹災世帯	14	11	16	17	6	▼11
罹災人員	29	23	32	33	11	▼22
火災による死者	2	1	2	1	1	0
火災による負傷者	5	4	3	4	2	▼2

●時間別火災発生件数

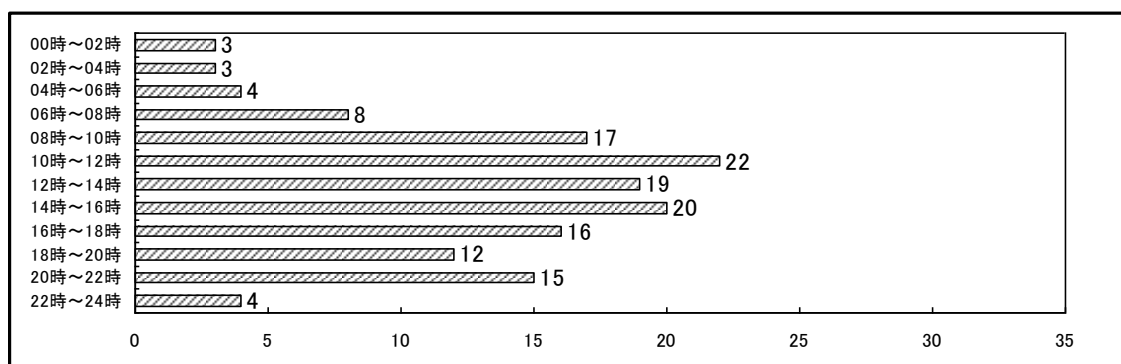
(単位：件)



●過去5年の時間別火災発生件数

(令和元年～令和5年)

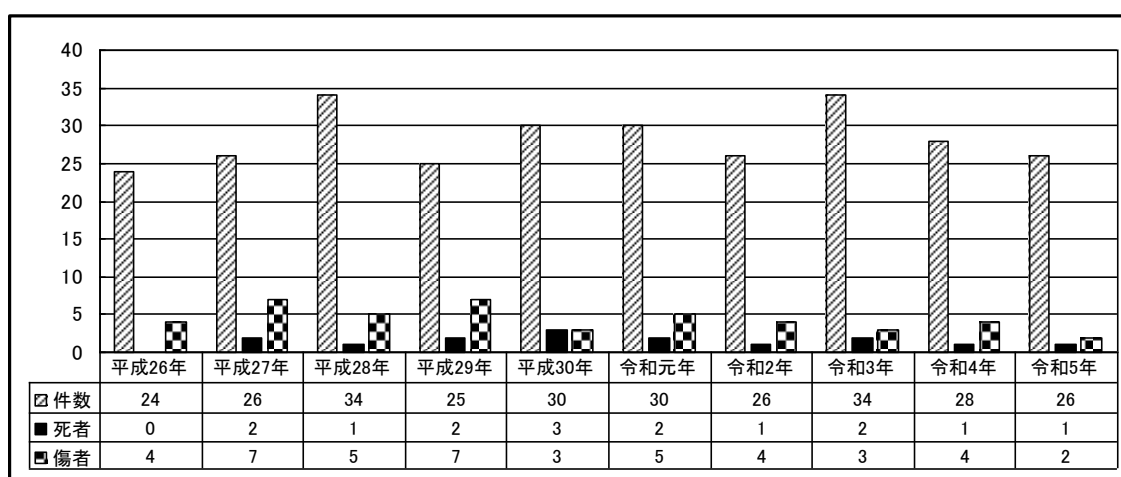
(単位：件)



●過去10年の火災件数と死傷者数

(平成26年～令和5年)

(単位：件、人)



6 救 急 関 係

<救急概要>

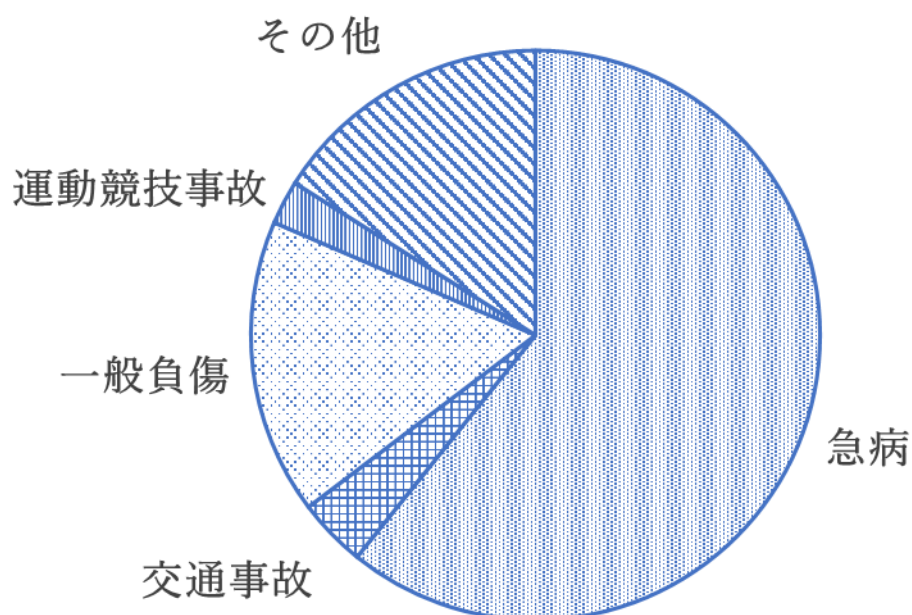
令和5年中の救急出動件数及び搬送人員は、それぞれ3,453件、3,266人で、令和4年の3,246件、3,088人に比べ、207件、178人の増加となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病2,094件（前年1,996件）、交通事故136件（前年142件）、一般負傷579件（前年506件）、その他（転院搬送等）576件（前年545件）となっており、この4種で全体の約98%を占めています。

傷病程度別にみると、死亡52人（前年63人）、重症486人（前年433人）、中等症1,302人（前年1,267人）、軽症1,426人（前年1,325人）となっています。

令和5年中の搬送人員に占める高齢者（65歳以上）の割合は、約81%となっており、今後も高齢者の占める割合が増加すると考えられます。これからも、救急車の適正利用と応急手当の普及啓発を進めていくところです。

<救急出動件数と種別の割合>



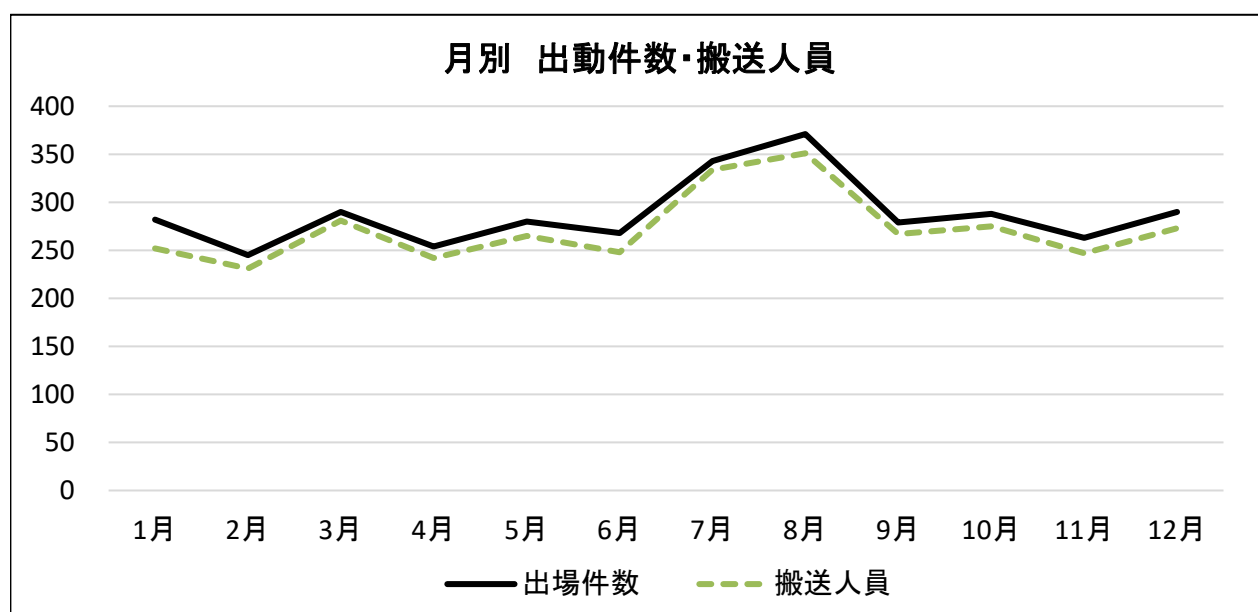
	急病	交通事故	一般負傷	運動競技事故等	その他	合計
出動件数	2,094	136	579	68	576	3,453
割合	60.6%	3.9%	16.8%	2.0%	16.7%	小数第2位四捨五入

※ 運動競技事故等とは、火災、自然災害、水難、労働災害、加害及び自損行為を含む。

<令和5年月別救急出動件数と搬送人員>

(単位：件、人)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	出動件数	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	5
	搬送人員	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
自然災害	出動件数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
水 難	出動件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交 通	出動件数	1	3	14	11	15	11	14	12	18	13	12	12	136
	搬送人員	0	3	14	10	16	10	14	11	17	13	12	12	132
労働災害	出動件数	1	3	0	1	1	4	4	6	1	1	3	1	26
	搬送人員	1	3	0	1	1	4	4	5	1	1	3	1	25
運動競技	出動件数	0	0	0	0	1	1	3	4	0	2	0	1	12
	搬送人員	0	0	0	0	1	1	3	4	0	2	0	1	12
一般負傷	出動件数	49	40	46	46	44	46	46	59	39	68	52	44	579
	搬送人員	45	40	46	44	42	45	46	57	38	67	49	38	557
加 害	出動件数	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
自損行為	出動件数	1	3	2	1	1	2	1	0	2	2	2	1	18
	搬送人員	1	1	2	1	1	0	1	0	2	2	1	0	12
急 病	出動件数	179	136	176	141	173	157	221	228	181	161	158	183	2,094
	搬送人員	158	124	168	136	162	146	214	216	172	150	149	177	1,972
転院搬送	出動件数	48	60	51	49	42	42	49	57	36	40	33	44	551
	搬送人員	47	60	51	49	42	41	49	56	36	40	33	44	548
その他	出動件数	2	0	0	2	3	4	2	3	1	1	3	4	25
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	出動件数	282	245	290	254	280	268	343	371	279	288	263	290	3,453
	搬送人員	252	231	281	242	265	248	334	351	267	275	247	273	3,266



<令和5年地域別救急状況>

(単位：件、人)

事故種別 地域別		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他	合計
萩 地域	出動件数	5	3	1	84	18	10	398	2	12	1,432	521	19	2,505
	搬送人員	2	3	0	79	17	10	383	2	8	1,348	518	0	2,370
川上 地域	出動件数	0	0	0	3	1	0	12	0	0	42	1	0	59
	搬送人員	0	0	0	3	1	0	12	0	0	41	1	0	58
田万川 地域	出動件数	0	0	0	5	3	0	43	0	1	161	1	2	216
	搬送人員	0	0	0	5	3	0	40	0	1	150	1	0	200
むつみ 地域	出動件数	0	0	0	3	2	1	16	0	0	61	0	0	83
	搬送人員	0	0	0	4	2	1	16	0	0	58	0	0	81
須佐 地域	出動件数	0	0	0	9	1	0	35	0	0	113	24	1	183
	搬送人員	0	0	0	8	1	0	34	0	0	106	24	0	173
旭 地域	出動件数	0	0	0	14	0	1	21	0	0	74	0	0	110
	搬送人員	0	0	0	14	0	1	20	0	0	72	0	0	107
福栄 地域	出動件数	0	0	0	5	1	0	22	1	2	67	0	2	100
	搬送人員	0	0	0	4	1	0	22	1	0	64	0	0	92
阿武町	出動件数	0	0	0	13	0	0	32	0	3	143	4	1	196
	搬送人員	0	0	0	15	0	0	31	0	3	132	4	0	185
その他 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	出動件数	5	3	1	136	26	12	579	3	18	2,094	551	25	3,453
	搬送人員	2	3	0	132	25	12	558	3	12	1,971	548	0	3,266

<令和5年傷病程度別搬送人員>

(単位：人)

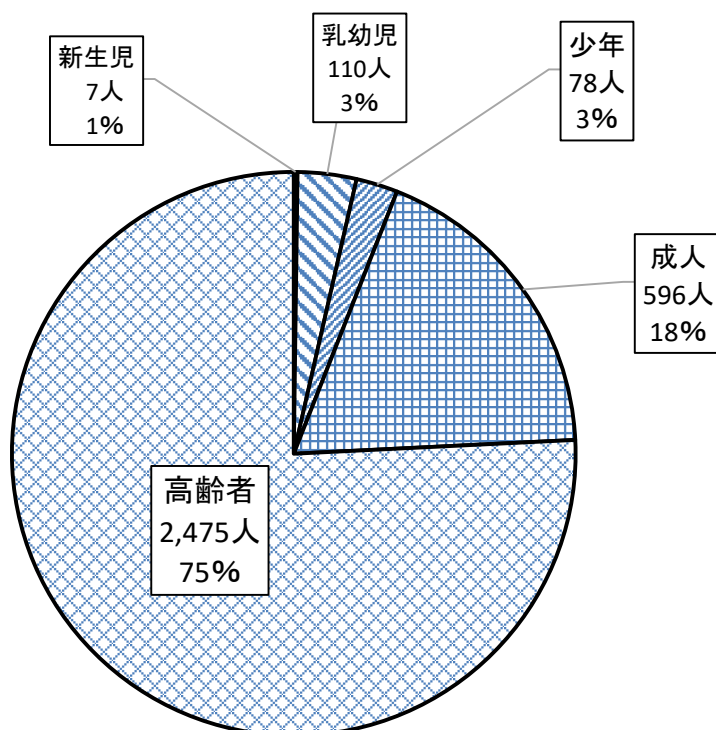
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火 災	0	1	1	0	0	2
自然災害	0	1	1	1	0	3
水 難	0	0	0	0	0	0
交 通	1	12	26	93	0	132
労働災害	0	1	7	17	0	25
運動競技	0	1	1	10	0	12
一般負傷	8	82	193	275	0	558
加 害	0	0	2	1	0	3
自損行為	3	1	2	6	0	12
急 病	37	181	764	989	0	1,971
転院搬送	3	206	306	33	0	548
その他	0	0	0	0		0
合計	52	486	1,303	1,425	0	3,266

備考 死亡：初診時において死亡が確認されたもの、重症：3週間以上入院加療を必要とするもの
中等症：重症または軽症以外のもの、軽症：入院加療を必要としないもの
その他：いずれにも分類不能なもの。

<令和5年事故種別・年齢区分別搬送人員>

(単位：人)

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他	合計
新生児 生後28日未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	7
乳幼児 生後28日以上 満7歳未満	0	0	0	5	0	0	21	0	0	75	9	0	110
少年 満7歳以上 満18歳未満	0	0	0	6	0	3	15	0	4	45	5	0	78
成人 満18歳以上 満65歳未満	0	3	0	58	20	7	69	3	4	338	94	0	596
高齢者 満65歳以上	2	0	0	63	5	2	453	0	4	1,511	435	0	2,475
合 計	2	3	0	132	25	12	558	3	12	1,971	548	0	3,266



<令和5年医療機関別搬送人員>

(単位：人)

救急告示医療機関					その他の医療機関					計				その 他の 場 所	合 計
国 立 ・ 公 立	公 的	私的		計	国 立 ・ 公 立	公 的	私的		計	国 立 ・ 公 立	公 的	私的			
		病 院	診 療 所				病 院	診 療 所				病 院	診 療 所		
1,273	325	1,635	0	3,233	1	0	7	25	33	1,274	325	1,642	25	0	3,266

<過去5年の管轄内・管轄外搬送状況>

(単位：人)

種別 年別		搬送 人員	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 搬送	その他
令和 5 年	管轄内	2,772	2	3	0	124	22	12	499	3	11	1,754	342	0	0	0
	管轄外	494	0	0	0	8	3	0	59	0	1	217	206	0	0	0
	計	3,266	2	3	0	132	25	12	558	3	12	1,971	548	0	0	0
令和 4 年	管轄内	2,555	2	0	4	138	10	15	428	4	9	1,606	339	0	0	0
	管轄外	533	0	0	0	9	1	0	54	2	1	288	178	0	0	0
	計	3,088	2	0	4	147	11	15	482	6	10	1,894	517	0	0	0
令和 3 年	管轄内	2,466	2	0	11	106	20	11	432	4	9	1,551	318	0	0	2
	管轄外	427	1	0	0	9	2	0	56	0	0	221	138	0	0	0
	計	2,893	3	0	11	115	22	11	488	4	9	1,772	456	0	0	2
令和 2 年	管轄内	2,146	3	0	2	135	14	11	385	3	9	1,264	320	0	0	0
	管轄外	432	1	0	0	14	3	0	52	0	1	209	152	0	0	0
	計	2,578	4	0	2	149	17	11	437	3	10	1,473	472	0	0	0
令和 元 年	管轄内	2,462	4	0	6	129	14	13	396	2	11	1,493	394	0	0	0
	管轄外	485	0	0	1	18	4	1	56	0	0	229	176	0	0	0
	計	2,947	4	0	7	147	18	14	452	2	11	1,722	570	0	0	0

<過去5年のドクターヘリ出動実績>

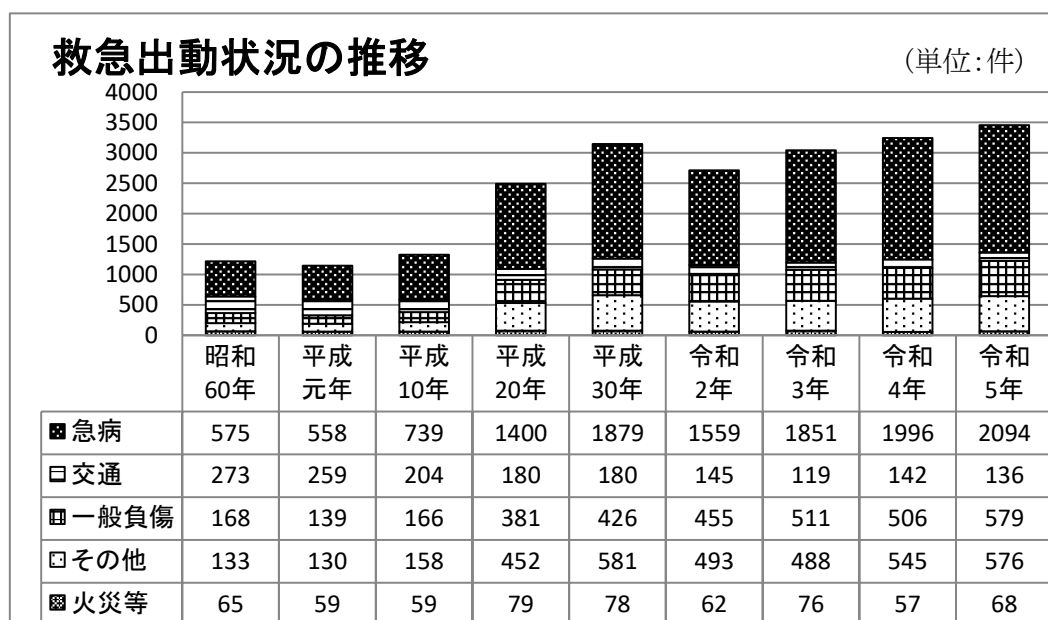
年 地域		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
萩 地域	現場 出動	1	1	0	3	5
	転院 搬送	24	28	18	40	37
川上 地域	現場 出動	0	0	1	1	1
	転院 搬送	0	0	0	0	0
田万川 地域	現場 出動	3	1	1	1	2
	転院 搬送	0	0	0	0	0
むつみ 地域	現場 出動	2	1	0	1	0
	転院 搬送	0	0	0	0	0
須佐 地域	現場 出動	1	2	0	1	3
	転院 搬送	0	0	0	0	0
旭 地域	現場 出動	0	0	2	2	0
	転院 搬送	0	0	0	0	0
福栄 地域	現場 出動	1	0	2	0	1
	転院 搬送	0	0	0	0	0
阿武町	現場 出動	1	2	1	1	2
	転院 搬送	0	0	0	0	0
合 計		33	35	25	50	51

<過去5年の救急状況>

(令和元年～令和5年)

(単位：件、人)

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比増減
出 動 件 数		3,100	2,714	3,045	3,246	3,453	207
事 故 種 別	火災	5	6	5	1	5	4
	自然災害	0	0	0	0	3	3
	水難	7	3	16	8	1	▲ 7
	交通	152	145	119	142	136	▲ 6
	労働災害	18	18	22	11	26	15
	運動競技	14	10	11	14	12	▲ 2
	一般負傷	471	456	511	506	579	73
	加害	4	4	5	6	3	▲ 3
	自損行為	13	21	17	17	18	1
	急病	1,797	1,558	1,851	1,996	2,094	98
	転院搬送	570	474	459	515	551	36
	その他	49	19	29	30	25	▲ 5
搬 送 件 数		2,932	2,563	2,886	3,069	3,250	181
不 搬 送 件 数		168	151	159	177	203	26
医 師 搬 送 件 数		1	0	0	0	1	1
器 具 搬 送 件 数		0	4	5	1	0	▲ 1
搬 送 人 員 数		2,947	2,578	2,893	3,088	3,266	178



＜心肺蘇生法及び普通救命講習等受講状況＞

●心肺蘇生法（講習時間：1時間程度～3時間未満）

内容：心肺蘇生法の基本、講習に時間がとれない方が応急手当の方法を学ぶ

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和5年	55団体	58件	1,764名
令和4年	45団体	49件	1,012名
令和3年	31団体	37件	896名
令和2年	33団体	68件	874名
令和元年	67団体	69件	2,168名
過去5年間	231団体	281件	6,714名

●普通救命講習Ⅰ（講習時間：3時間）

内容：心肺蘇生法（成人）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法を学ぶ

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和5年	18団体	18件	261名
令和4年	9団体	9件	90名
令和3年	12団体	14件	111名
令和2年	10団体	13件	207名
令和元年	16団体	19件	192名
過去5年間	65団体	73件	861名

●普通救命講習Ⅱ（講習時間：4時間）

内容：心肺蘇生法（成人）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法を学ぶ

心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）、心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）を実施（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和5年	0団体	0件	0名
令和4年	0団体	0件	0名
令和3年	1団体	3件	19名
令和2年	0団体	0件	0名
令和元年	3団体	4件	64名
過去5年間	4団体	7件	83名

●普通救命講習Ⅲ（講習時間：3時間）

内容：心肺蘇生法（小児・乳児・新生児に対する方法）や異物除去の方法、AEDの実技・止血法を学ぶ（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和5年	1団体	1件	7名
令和4年	2団体	2件	13名
令和3年	1団体	1件	4名
令和2年	1団体	1件	8名
令和元年	3団体	3件	23名
過去5年間	8団体	8件	55名

●上級救命講習（講習時間：8時間）

内容：心肺蘇生法（成人・小児・乳児・新生児に対する方法・一人法・二人法）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法、傷病者に対する保温や搬送の方法、包帯法、やけどの手当を学ぶ。心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）を実施（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和5年	2団体	2件	8名
令和4年	0団体	0件	0名
令和3年	4団体	4件	12名
令和2年	1団体	1件	1名
令和元年	1団体	1件	1名
過去5年間	8団体	8件	22名

7. 救 助 関 係

救助概要

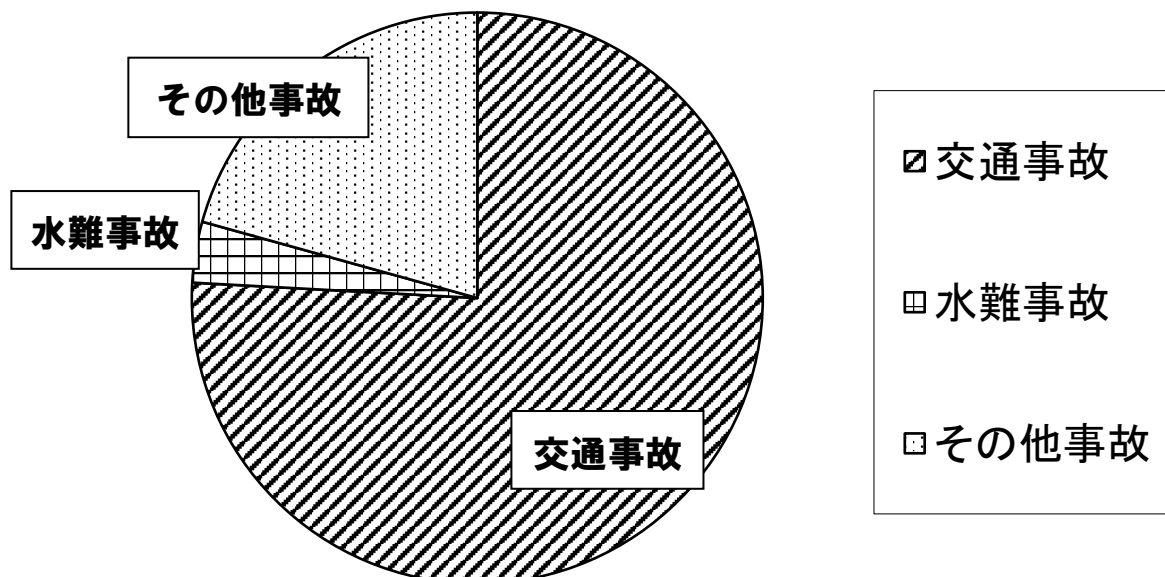
令和5年中の救助出動件数及び救助人員数はそれぞれ29件・20人で、令和4年中の18件・9人に比べると、件数が11件、救助人員が11人増加している。

事故種別ごとの件数は、交通事故22件（前年6件）、水難事故1件（前年2件）、その他の事故6件（前年10件）となる。

事故種別で救助件数をみると、例年のことながら交通事故の割合が高い。中でも高齢者の運転操作の誤りによる事故が増加している。水難事故は減少しているが、海岸沿いでの負傷（その他の事故に含まれる）など、水辺での事故は多く発生しているため、釣り場等での注意は必要である。

救助出動件数と割合

	交通事故	水難事故	その他事故	合 計
出動件数	22	1	6	29
割 合	75.9%	3.4%	20.7%	小数第2位四捨五入



<令和5年地域別救助活動状況>

(単位：件、人)

地域別		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事 故	機械等 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物以外										
萩 地域	出動件数				12	1						1	14
	救助人員				5	0						1	6
川上 地域	出動件数												0
	救助人員												0
田万川 地域	出動件数												0
	救助人員												0
むつみ 地域	出動件数												0
	救助人員												0
須佐 地域	出動件数				2								2
	救助人員				3								3
旭 地域	出動件数				3								3
	救助人員				2								2
福栄 地域	出動件数				2							3	5
	救助人員				2							1	3
阿武町	出動件数				3							2	5
	救助人員				5							1	6
合計	出動件数	0	0		22	1	0	0	0	0	0	6	29
	救助人員	0	0		17	0	0	0	0	0	0	3	20

<過去5年の救助活動状況>

(令和元年～令和5年)

(単位：件、人)

地域別		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事 故	機械等 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物以外										
令和5年	出動件数				22	1						6	29
	活動件数				14	0						3	17
	救助人員				17	0						3	20
令和4年	出動件数				6	2						10	18
	活動件数				1	1						7	9
	救助人員				1	1						7	9
令和3年	出動件数				9	10			3			6	28
	活動件数				6	7			3			6	22
	救助人員				7	7			2			6	22
令和2年	出動件数				15	1		1		1		9	27
	活動件数				7	0		0		1		4	12
	救助人員				8	0		0		1		4	13
令和元年	出動件数				14	4						14	32
	活動件数				4	2						6	12
	救助人員				5	2						6	13
合計	出動件数	0	0		66	18	0	1	3	1	0	45	134
	活動件数	0	0		32	10	0	0	3	1	0	26	72
	救助人員	0	0		38	10	0	0	2	1	0	26	77

<救助活動用機械器具等の保有状況>

区分	名称	数量
一般救助器具	かぎ付きはしご	3
	三連はしご	5
	金属製折りたたみはしご	2
	ワイヤはしご	1
	空気式救助マット	1
	救命索発射銃	3
	サバイバースリング	2
	救助用縛帯	5
	平担架	1
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3
	大型油圧スプレッダー	1
	可搬ウィンチ	6
	ワイヤーロープ	33
	マンホール救助器具	1
	マット型空気ジャッキ	2
	チェーンブロック	1
切断用器具	大型油圧切断器	2
	エンジンカッター	6
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	7
	鉄線カッター	6
	空気鋸	1
	空気切断機	1
器破壊用具用	万能斧	17
	ハンマー	10
	削岩機	2
器測定検具用・	可燃性ガス測定器	6
	有毒ガス測定器	1
	放射線測定器	16
検用山岳救助器具・	バスケット担架	5
	簡易画像探査機	1

区分	名称	数量
呼吸保護用器具	空気呼吸器	38
	空気ボンベ	77
	酸素呼吸器	4
	簡易呼吸器	2
	防塵マスク	20
	送排風機	2
隊員保護用器具	耐電手袋	26
	安全帯	19
	防塵メガネ	23
	携帯警報器	17
	防毒マスク	26
	陽圧式化学防護服	4
	耐熱服	6
水難救助用器具	耐電衣	2
	耐電長靴	18
	潜水器具一式	8
	救命胴衣	59
	水中ライト	8
	救命浮環	16
	浮標	1
その他の救助用器具	救命ボート	4
	船外機	1
	投光器	17
	電池式サーチライト	30
	携帯拡声器	11
	携帯無線機	25
	応急処置セット	2
	車両移動器具	1
	その他の携帯救助工具	3
	緩降機	2
	発電機	17

8 予 防 関 係

<防火対象物数（消防法第17条第1項該当）及び査察実施状況>

令和6年4月1日現在

市町別 令別表項目別			防火対象物数（法第17条第1項該当）			査察実施件数		
			萩市	阿武町	計	萩市	阿武町	計
1	イ	劇場・映画館	2	0	2	2	0	2
	ロ	公会堂・集会場	17	4	21	11	2	13
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	0	5	0	0	0
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケ店等	0	0	0	0	0	0
3	イ	料理店等	2	0	2	1	0	1
	ロ	飲食店	92	2	94	7	0	7
4		百貨店・店舗等	84	4	88	15	0	15
5	イ	旅館・ホテル	137	5	142	53	0	53
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	333	3	336	3	0	3
6	イ	病院・診療所等	40	2	42	1	0	1
	ロ	老人短期入所施設等	22	4	26	22	4	26
	ハ	老人デイサービスセンター等	75	5	80	32	0	32
	ニ	幼稚園・盲学校等	4	0	4	0	0	0
7		小・中・高等学校等	94	15	109	34	13	47
8		図書館・博物館等	12	0	12	0	0	0
9	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	2	0	2	0	0	0
10		車両の停車場等	3	0	3	0	0	0
11		神社・寺院・教会等	85	7	92	0	0	0
12	イ	工場・作業場	229	15	244	11	0	11
	ロ	スタジオ	3	0	3	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	16	1	17	6	0	6
	ロ	格納庫	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	178	7	185	39	0	39
15		事務所等	299	18	317	162	2	164
16	イ	複合用途（特定用途を含む）	175	11	186	38	1	39
	ロ	複合用途（特定用途を含まない）	83	3	86	11	0	11
17		重要文化財	56	0	56	8	0	8
18		アーケード	1	0	1	0	0	0
合 計			2049	106	2155	456	22	478

<中高層建築物（４階以上）>

令和6年4月1日現在

市町別建物階数 令別表別項目			４階		５階		６階		７階		８階		９階		１０階		計
			萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	
1	イ	劇場・映画館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カフェ店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	料理店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		百貨店・店舗等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル	7	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	11
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	40	0	4	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	49
6	イ	病院・診療所等	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	ロ	老人短期入所施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	幼稚園・盲学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		小・中・高等学校等	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
8		図書館・博物館等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業場	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	ロ	スタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		事務所等	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
16	イ	複合用途（特定用途を含む）	9	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	14
	ロ	複合用途（特定用途を含まない）	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
17		重要文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			80	0	12	0	2	0	2	0	4	0	3	0	2	0	105

<講習会等実施状況>

(令和5年度)

内 容	実施回数	参加者数
防 火 講 習 会	0	0
甲 種 防 火 管 理 講 習 会	1	36
甲 種 防 火 管 理 再 講 習 会	1	16

<危険物規制対象物>

令和6年4月1日現在

製造所等 市町	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販売 一 種 二 種	一 般	
萩 市	0	20	36	9	46	2	13	1	44	1	23	195
阿武町	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	7
計	0	22	37	10	46	2	13	1	47	1	23	202

<危険物製造所等の事務処理状況>

(令和5年度)

製造所等 事務内訳		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販売 一 種 二 種	一 般	
許可	設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	0	1	8	0	0	0	6	0	3	18
完成 検査	設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	1	1	8	0	0	0	6	0	3	19
仮使用		0	0	0	1	8	0	0	0	6	0	2	17
廃止届		0	5	0	0	3	0	1	0	1	0	1	11
仮	貯蔵												2
	取扱												7

<危険物製造所等立入検査状況>

(令和5年度)

製造所等 市町	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販売 一 種 二 種	一 般	
萩 市	0	25	37	11	60	2	15	1	54	1	28	234
阿武町	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	7
計	0	27	38	12	60	2	15	1	57	1	28	241

9 消防団関係

<萩市消防団組織表>

令和6年4月1日現在

団名	団長名	方面団名	分団名	人数	(女性団員)
萩市消防団	総括団長 原田 明	中央方面団長 (兼総括副団長) 吉村辰市	中央方面団本部	11名	
			明倫第1分団	19名	7名
			明倫第2分団	22名	1名
			明倫第3分団	19名	
			椿東第1分団	21名	
			椿東第2分団	14名	1名
			新川分団	15名	2名
			越ヶ浜分団	19名	
			椿分団	20名	1名
			山田第1分団	17名	2名
			山田第2分団	20名	
			木間分団	16名	1名
			三見第1分団	15名	
			三見第2分団	14名	1名
			三見第3分団	23名	
			大井第1分団	15名	
			大井第2分団	16名	1名
			大島分団	38名	
			相島分団	12名	
			見島分団	46名	
			小計	392名	17名
		川上方面団長 金子和夫	川上方面団本部	24名	7名
			川上第1分団	8名	
			川上第2分団	10名	
			川上第3分団	8名	
			小計	50名	7名
		田万川方面団長 石川 朗	田万川方面団本部	14名	
			田万川第1分団	14名	
			田万川第2分団	17名	
			田万川第3分団	10名	
			田万川第4分団	14名	
			田万川第5分団	16名	
			田万川第6分団	12名	
			田万川第7分団	14名	
			田万川第8分団	10名	10名
			小計	121名	10名
		むつみ方面団長 高橋正演	むつみ方面団本部	17名	
			むつみ第1分団	18名	
			むつみ第2分団	19名	
			むつみ第3分団	14名	
			むつみ第4分団	12名	
			むつみ第5分団	9名	9名
			小計	89名	9名

団名	団長名	方面団名	分団名	人数	(女性団員)
萩市消防団	総括団長 原田 明	須佐方面団長 有福和夫	須佐方面団本部	3名	
			須佐第1分団	13名	
			須佐第2分団	17名	
			須佐第3分団	13名	
			須佐第4分団	13名	
			須佐第5分団	12名	
			須佐第6分団	7名	
			須佐第7分団	12名	
			須佐第8分団	9名	9名
			小計	99名	9名
		旭方面団長 三浦真秀	旭方面団本部	3名	
			佐々並第1分団	14名	
			佐々並第2分団	12名	
			佐々並第3分団	9名	
			佐々並第4分団	10名	10名
			佐々並自動車分団	18名	
			明木第1分団	11名	
			明木第2分団	14名	
			明木第3分団	15名	
			明木第4分団	10名	10名
			明木自動車分団	11名	
			小計	127名	20名
		福栄方面団長 佐伯靖史	福栄方面団本部	20名	
			福栄第1分団	20名	
			福栄第2分団	21名	
			福栄第3分団	12名	
			福栄第4分団	15名	
			福栄第5分団	12名	12名
			小計	100名	12名

合 計	979名	84名
-----	------	-----

<消防団の概要>

令和6年4月1日現在

条例定数 (人)	方面 団数	分団数	実員数 (女性)	水槽付消 防自動車	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ付 軽積載車	小型動力 ポンプ	その他
1,244	7	58	979 (84)	0	24	23	19	27	2

分団別	分団数	団員数 (人)	(女性)	水槽付消 防自動車	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ付 軽積載車	小型動力 ポンプ	その他
中 央	19	392	17	0	12	4	11	10	1
川 上	3	50	7	0	1	0	3	6	0
田万川	8	127	10	0	2	5	1	0	0
むつみ	5	89	9	0	2	2	1	2	0
須 佐	8	99	9	0	2	5	1	5	0
旭	10	127	20	0	2	6	0	0	0
福 栄	5	100	12	0	3	1	2	4	0

●階級別団員数

令和6年4月1日現在

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	21	64	63	62	197	571	979

●団員の在職年数

令和6年4月1日現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
121	131	134	118	108	160	113	94	979

●年齢別団員数

令和6年4月1日現在

18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 以上	団員数	平均 年齢
0	10	22	40	73	125	158	184	367	979	50.7

●団員年報酬

(単位：円)

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

●団員出動報酬

(単位：円)

火災	水防	警戒・訓練等	その他
8,000	8,000	6,900	5,000

(※訓練等は、3時間未満の場合は3,450円)

<消防団活動状況>

(令和5年度)

火災		水防		訓練		その他		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
11	302	4	104	178	4,700	462	4,210	655	9,316

萩市防災メールのご案内

緊急情報を携帯・スマートフォンやパソコンにメールでお知らせします。

★全員に配信する情報

- ①気象警報
- ②防災情報
 - ・山口県日本海沿岸の高潮や津波の情報
 - ・山口県北部地方の地震情報（震度1以上）
 - ・国民保護（武力攻撃事態・緊急対処事態）の情報
 - ・河川や海岸の水防警報（はん濫注意水位・ダム放流）、避難情報（避難指示等）、
 - ・重要な行政情報、その他緊急情報

★希望者のみに配信する情報

- ③気象注意報
- ④萩市内及び阿武町の消防車出動情報（火災・救助）
- ⑤重大事故、災害、大雪による道路封鎖情報
- ⑥防犯（不審者情報・所在不明者情報を含む）や交通安全等の生活安全情報
- ⑦観光・イベント情報、公立の学校や保育園から地域へのお知らせ
- ⑧JR運休情報、萩海運の欠航、仙崎海上保安部の海上安全情報、感染症、幹線の除雪



↑ 防災メール登録 ↑ 配信された情報 ↑ 防災メール解除

あなたの携帯電話やパソコンに緊急情報いつでも24時間お知らせします。気象警報と市からの重要なお知らせ以外は、受信する情報を自由に選択できます。パケット通信用料や携帯電話等の維持費用は、個人で負担ください。

●登録方法

最近の携帯電話は、パソコン等からのメールを迷惑メールとして受信拒否する設定になっています。必ず、事前に次の3種のドメインから送信されたURL付きメールを受信できるよう設定変更してから、登録作業を行ってください。ご自分で設定が出来ない方は、この案内を携帯電話に詳しい方や携帯電話販売店に見せて相談してください。登録後、配信不良が5回以上発生すると、登録は自動解除されます。受信設定を確認して再登録してください。

「xpressmail.jp」 「city.hagi.lg.jp」 「lg.jp」

バーコードリーダーで案内右上部のQRコードを読んで、hagi@xpressmail.jp へ空メールを送信すると、登録・変更メールが届きます。返信メールのURLにアクセスして氏名入力、お住まいの地域、希望情報区分と必要な地域（自宅、職場、学校、通勤経路）を選択してください。

※全ての地域を選択すると必要のない地域の情報まで配信され、受信メールが増えるため、通信料が高額になる場合があります。

※消防団・官公庁の方と市職員は、お名前に所属と本名を入力してください。例「〇〇分団 萩野太郎」 ※市職員は職員番号も入力

問い合わせ：萩市総務部防災危機管理課 TEL：0838-25-3808 FAX 0838-21-3501 e-mail：bousai@cityu.hagi.lg.jp

令和 6 年 5 月 印刷・発行

編 集 萩市消防本部消防総務課

〒758-0041 萩市大字江向 428 番地 2

TEL : 0838-25-2780 FAX : 0838-26-3945

E-mail : hagisbsoumu@city.hagi.lg.jp

U R L : <http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/24.html>